



新たなスポーツSDGsと発展途上国のスポーツ発展 ～使用済みユニフォームや練習道具の再利用～

中京大学スポーツ科学部 草薙ゼミ

高橋のどか

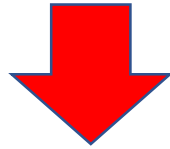
長木佑美花

瀬川侑奈

今井文也

1. アイデア創出の経緯

不要な衣服や道具を譲渡したい人のSNS投稿を見たことで
「不要となった衣服」や「スポーツ用具の有効活用」
を考えることになった

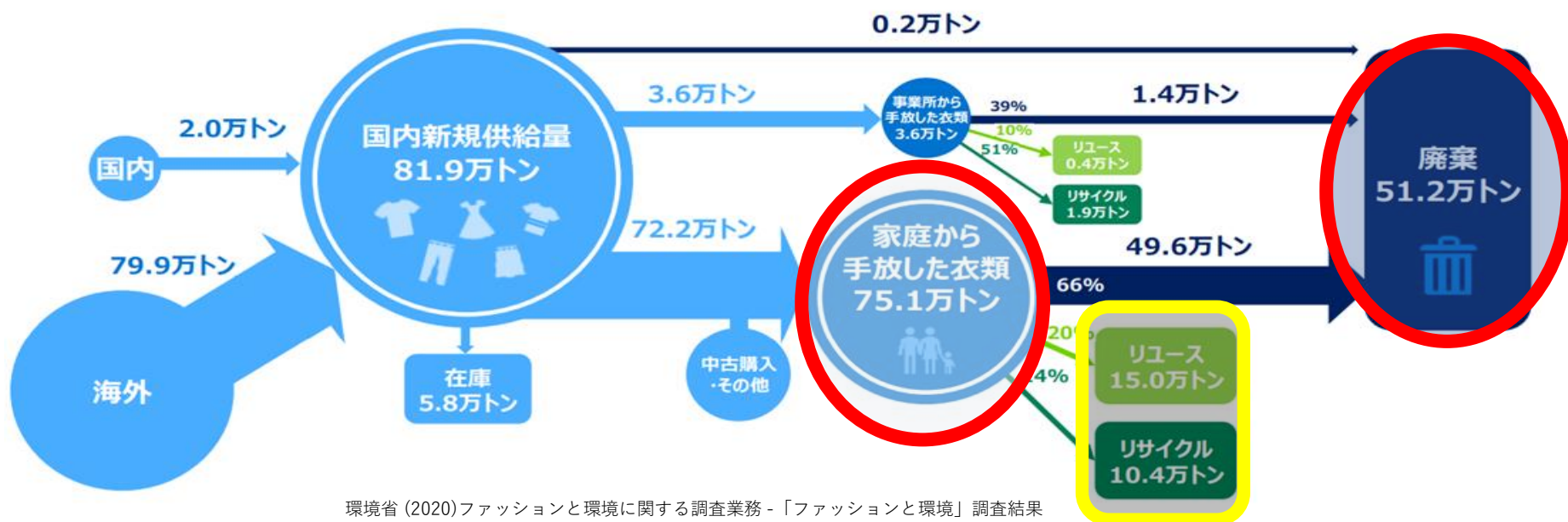


環境省は…

「ファッションの生産流通において自然環境や社会に配慮した取り組み」を推進



1年間で廃棄される衣類量 (株式会社日本総合研究所, 2020)



アシックスの東京オリンピック公式ユニフォームの取り組み

- 衣服の回収を2019年1月に開始
- 回収ボックスを全国250箇所設置
(アシックス直営店・スポーツ用品店・五輪パートナー企業・提携大学)
- リサイクルパートナー、系や生地サプライヤーとコラボしユニフォームを製作

スポーツにおける問題と解決策①

SUSTAINABLE FASHIONが話題となる昨今、衣服の再利用が進んでいる …しかしながら

「スポーツ大学の体育会部活動ユニフォームや中高の体育着」は、毎年 **“新品購入→廃棄”** のサイクル (not **SUSTAINABLE FASHION**) が 繰り返されている

解決策 膨大な量が廃棄されるユニフォームや体育着を “リサイクルリユース⇔次世代へ引継ぎ” すること

→ スポーツメーカーと大学がコラボすることで
ユニフォームや体育着のリサイクルリユースが可能



新たなスポーツSDGs

スポーツにおける問題と解決策②



部内での忘れ物や試合時の忘れ物が多く、その多くは持ち主が見つからない → **使える物でも廃棄**されている

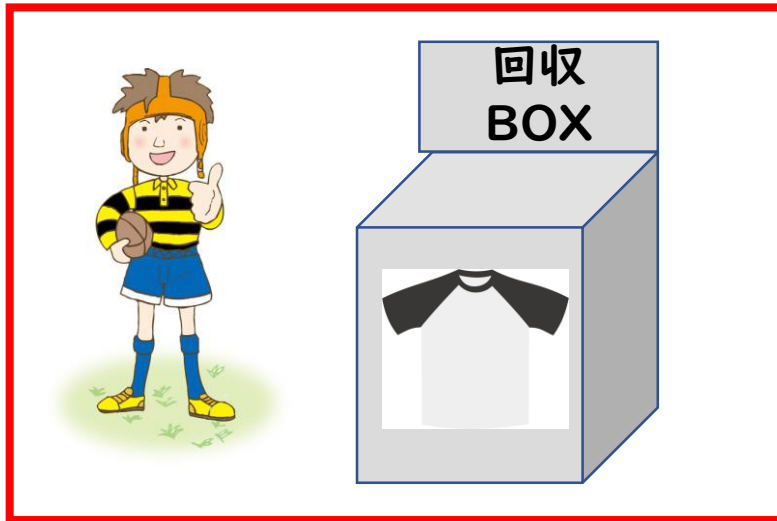


試合時を含む忘れ物の保管期間3か月(埼玉スタジアム, 2018年)

リサイクルリユース・忘れ物の有効活用を行うことで
「**スポーツに特化したSUSTAINABLEFASHION**」への
具体的な取り組みにも参画可能

2. 新たなスポーツSDGsのビジョン

新たなスポーツSDGs活動「re輪」の立ち上げ



不要になった服やスポーツ用具の回収

学内での回収方法

- ①ボックスの設置と各部活の忘れ物を回収
- ②地域スポーツ施設の忘れ物を回収

一般回収方法：SNSでの周知

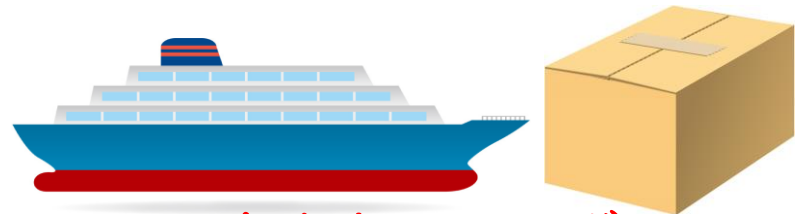
- ①箱に詰めて研究室に送料込みで送付
- ②豊田市のショッピングモールにボックス設置

使用済みのユニフォーム素材をリサイクルリユース



スポーツ企業とのコラボレーション

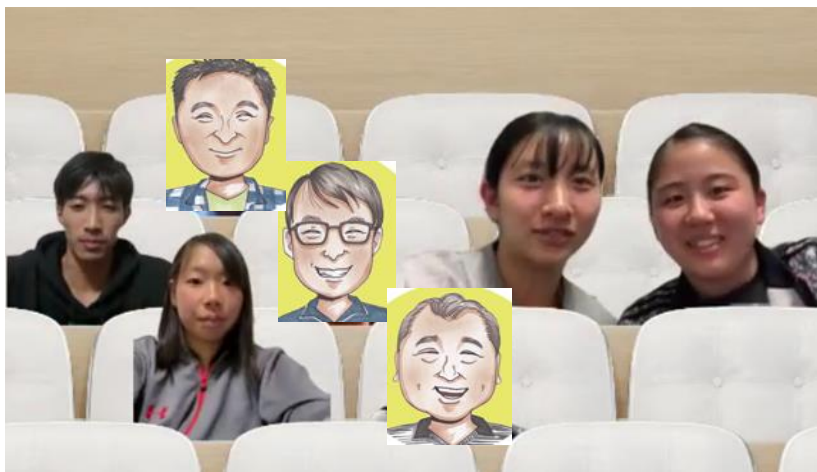
回収したものを寄附として届ける



jicaや自治体とのコラボレーション

3. 新たなスポーツSDGs「re輪」のスタート

豊田市役所 × NPO団体プロボノ × 中京大学草薙ゼミ



<目的>

re輪が推進する
SDGsアイデアの実現化

“専門領域に長けたボランティア支援者”
の介入を受け様々なSDGs活動を行う

1. 週1度のWebミーティング
2. 活動ビジョンの策定
3. 活動後のフィードバックミーティング
4. 活動のブラッシュアップ案の構築

3-1. 新たなスポーツSDGs「re輪」の活動①

その他

学生ビジネスコンペへの参加

▶コンペ等で言われたこと・気づき

- ・着眼点はとても良いが、**資金の確保**などはどうするのか

- ①学校・企業に協力依頼を行う

- ②クラウドファンディングを行う

- ・スポーツ用品より**もっと広い幅**で考えた方が良くはないのか

- ①スポーツ用具に限らず早い成長故に廃棄確率が高い

- 子供服の回収案の構築

3-2. 新たなスポーツSDGs「re輪」の活動②

**JICA・古着でワクチン
依頼、回収、クリーニング
梱包、配送**



**中京大学子どもフェスタ
子供服の回収事業**



Instagram

recircle.kusanagizemi ● ⊕ ≡



6 71 107
投稿 フォロワー フォロー中

re輪

中京大学 草薙ゼミ3回生
不要となるスポーツウェア/用具を発展途上国等の必要とされている場所に寄付を行い、持続可能なリサイクル・リユーススタイルの確立と新たなスポーツSDGsへ... 続きを読む

プロフィールを編集

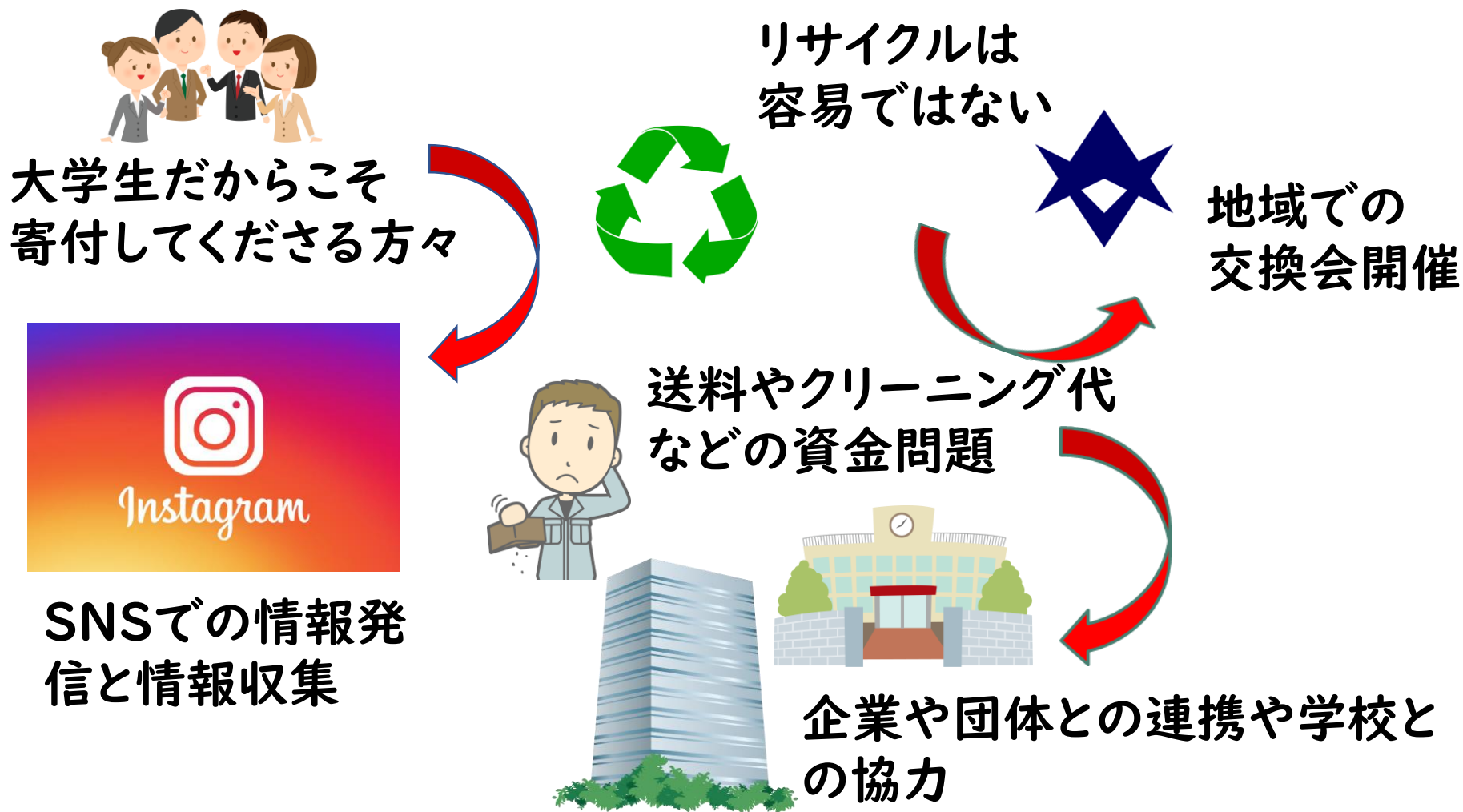
ストーリーハイライト

プロフィールにお気に入りのストーリーを保存しよう



子どもフェスタを通じ、寄付やリサイクルという考えだけでなく不要になったものを回収し、様々なところに仕分ける、仲介役としての働きかけも可能ではないか・・・

4.プロジェクトを通して発見した課題 ～現状の見える化と今後の挑戦～



5. 新たなスポーツSDGs「re輪」のNewビジョン

- もったいない精神を大切に不用となった古着を活かす活動に注力
- ★「re輪」☞「古着のリサイクルリユース活動の架け橋」を目指す
- ＊不用品を渡せる場所提供 ＊用品ごとの最適な利活用先を選択

☞ 3つの具体的活動ビジョンの構築

- ① 活動資金調達（募金・古着の換金・公的基金等）
- ② アップサイクル先の斡旋（協力企業募集&ネットワーク構築）
- ③ 発展途上国への寄付（Ex;古着でワクチン、JICA等）



<長期目標>

- サステナブルな不用品活用サイクルの構築
（これまでの学びより方向性を再確認）

6. 2022年度re輪ミッション

<2022年度目標>

「不用品の回収～利活用までのルート探索」

- ①独自企画イベントでスポーツ用具や古着を回収できる仕組み創り
 - ・ゼミ内で継承していく仕組みづくり
 - ・4年生と3年生の連携体制を構築
 - ・豊田市イベントとのコラボ企画(2022年3月19日, 27日に実施)
- ②回収スタイル構築と仕分けスタイルの構築と新規送付先の追加
 - ・回収品の分別回収スタイルの構築
 - ・仕分けの簡易化スタイルの構築
 - ・新規送付先の追加
- ③アップサイクル実施企業とのコラボレーション
 - ・株式会社 鈴六 × 中京大学草薙ゼミ = 回収衣料をウェスへ

株式会社 鈴六

×

中京大学草薙ゼミ

コラボレーションを掲げるアイデア事例

1. 衣料回収業務のお手伝い

(学生の立場でSNS媒体を通して回収→再利用を周知する)

2. 中京大学スポーツ科学部で廃棄されるユニフォームからウエスを製作

☞ 大学内の清掃に用いる

3. 服飾大学や服飾専門学校の授業に回収衣料を用いる

※服飾を志す学生は、作品を作る際に生地を購入し製作している

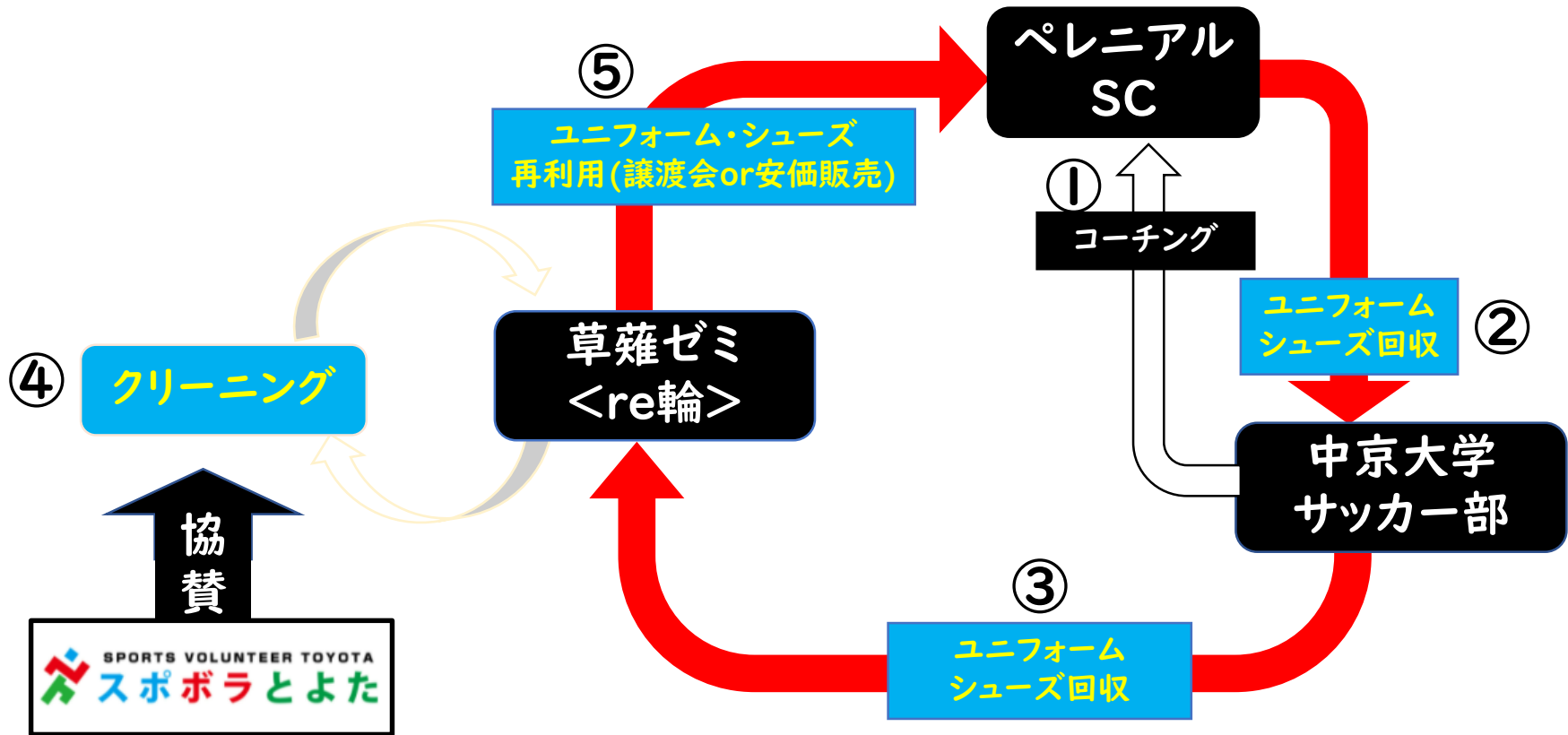
☞ 学生の手材料費仕入れによって生じる経済的負担の軽減

☞ 回収衣料から多機能ウエスのようなものを製作→安価で流通

4. 回収衣料でファッションコーディネートしたものをWeb上で販売

7.re輪と地域スポーツクラブ連携案

草薙ゼミ × ペレニアルSC × 中京大学サッカー部 × スポボラとよた



8. re輪がこれから進む道

〈～Try to SDGs Project～ 持続可能なプロジェクトへの挑戦〉

- ・re輪と一般企業のジョイントを目的とした渉外活動
- ・各種SDG'sについての討論会参加→Re輪活動のブラッシュアップ
- ・2022年度草薙ゼミ生との連携



・長期目標

1. 衣類のリサイクル

2. アップサイクル事業の確立 & 実施



スポーツ大生によるSDG'sの取り組み

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



17 パートナースhipで目標を達成しよう



16 平和と公正をすべての人に



15 陸の豊かさも守ろう



14 海の豊かさを守ろう



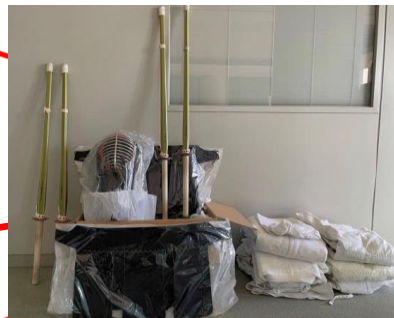
13 気候変動に具体的な対策を



貧困地域にワクチンを

古着からワクチンに変える

スポーツ用具を届ける



スポーツを通して
平和な世界を

一人でも多くの人が
スポーツをできる環境に

使用後の再利用法を考える

捨てるのではなく
再利用の場をつくる